

平成 27 年 2 月 10 日



—双方向音声案内デジタルサイネージシステムの全国初自治体共同研究—

## 半田市が次世代電子自治体に！ あの、“メイちゃん”が半田市に登場！

名古屋工業大学（国際音声技術研究所、情報基盤センター）・愛知県立大学（情報科学部 小栗・入部研究室）・半田市の三者は、次世代電子自治体への応用を目指し、双方向音声案内デジタルサイネージシステムを日本で初めて、市役所で設置します。

このシステムは、音声合成、音声認識システム等の最新の ICT を利用し、双方向で音声案内できるデジタルサイネージシステムです。

愛知県立大学はコンテンツの作成を、名古屋工業大学はシステム開発を、半田市はシステムの評価を担当します。

平成 27 年 2 月 16 日（月）13 時から、半田市役所新庁舎にてシステム設置と記者会見を行います。

※平成 27 年度末まで実験を実施し、電子自治体に必要な機能や利活用の可能性について検証を進める予定です。

日時：平成 27 年 2 月 16 日（月）13：00～13：30  
場所：半田市役所 新庁舎 1 階（半田市東洋町 2 丁目 1 番地）  
（駐車場は、隣接する半田病院駐車場をご利用ください）  
説明者：半田市長 榊原純夫  
愛知県立大学 情報科学部 教授 小栗宏次  
名古屋工業大学 情報工学専攻 准教授 山本大介



双方向音声案内  
デジタルサイネージ

## <システムの概要>

### ① 双方向音声案内デジタルサイネージシステム “メイちゃん”

名古屋工業大学徳田恵一教授らのグループにより開発が進められている、双方向音声案内デジタルサイネージシステム。ユーザがスマートフォンやWebブラウザなどを用いて、簡単に音声対話の内容を追加できる仕組みも備えている。情報を伝達するだけの一方のデジタルサイネージではなく、情報を見た人の音声を認識し、対応する情報を提示する双方向音声案内システムである。

現在このシステムは、名古屋工業大学、半田市観光協会に設置されている。

### ② 電子自治体

情報通信技術を活用し、様々な自動化システムや情報提供システムなどを通じて、省力化を進めるとともに、地域を元気にする便利な行政サービスを提供したり、効率的で災害に強い自治体を実現するため様々な情報システムが活用されるようになっている。

### ③ 研究プロジェクト

本実証実験は独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業で行っているプロジェクト（略称 CREST）における「コンテンツ生成の循環系を軸とした次世代音声技術基盤の確立（代表：徳田恵一教授）」による支援により行われています。

なお、プロジェクトは下記の3グループによって実施されています。

- ・名古屋工業大学 国際音声技術研究所（徳田恵一教授グループ）
- ・名古屋工業大学 情報基盤センター（山本大介准教授グループ）
- ・エジンバラ大学 音声技術研究センター（スティーブ レナルズ教授グループ）

## 【問い合わせ】

- ・半田市 企画部 秘書広報課 広報・情報担当 邑上祥二郎  
電話：0569-84-0603
- ・愛知県立大学 学務部 学務課 情報科学部係 加藤 美穂  
電話：0561-76-8826
- ・名古屋工業大学 企画広報課 広報室 井口 会美  
電話：052-735-5322